

教育・保育施設の確保方策の進捗状況

1号認定・2号認定（幼稚園希望） 3～5歳

■教育・保育提供区域■

市全体

(人)

大網白里市全域		令和元年度 定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		1,110	503	488	483	423	477	384	382	356	364	333
内訳	1号認定		378		363		358		288		274	
	2号認定（幼稚園希望）		125		120		119		94		90	
②確保 方策	特定教育・保育施設		774	774	774	774	774	404	400	400	400	334
	確認を受けない幼稚園		300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
確保の状況②－①			571	586	591	651	597	320	318	344	336	301
確保の内容		公立幼稚園4園の定員610人、私立幼稚園2園の定員500人。 ・令和2年度より季美の森幼稚園が認定こども園へ移行することに伴い定員36名減。 ・令和4年度より公立幼稚園の定員改定に伴い、定員370名減。 ・令和5年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員4名減。 ・令和6年度より大網幼稚園と瑞穂幼稚園の統合に伴い、定員60名減。 ・令和6年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員6名減。										

地域別

(人)

大網地域		令和元年度 定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		840	372	390	355	353	348	329	270	303	263	294
内訳	1号認定		271		258		253		203		198	
	2号認定（幼稚園希望）		101		97		95		67		65	
②確保 方策	特定教育・保育施設		504	504	504	504	504	284	280	280	280	214
	確認を受けない幼稚園		300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
確保の状況②－①			432	414	449	451	456	255	310	277	317	220
確保の内容		公立幼稚園は大網幼稚園、瑞穂幼稚園の2園、私立幼稚園は大網木の花幼稚園の1園、認定こども園は季美の森幼稚園の1園。 ・令和4年度より公立幼稚園の定員改定に伴い、定員220名減。 ・令和5年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員4名減。 ・令和6年度より大網幼稚園と瑞穂幼稚園の統合に伴い、定員60名減。 ・令和6年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員6名減。										

(人)

増穂地域		令和元年度 定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		170	100	61	105	44	112	35	86	37	79	26
内訳	1号認定		76		80		85		65		59	
	2号認定（幼稚園希望）		24		25		27		21		20	
②確保方策			170	170	170	170	170	60	60	60	60	60
確保の状況②－①			70	109	65	126	58	25	▲26	23	▲19	34
確保の内容		公立増穂幼稚園。 ・令和4年度より公立幼稚園の定員改定に伴い、定員110名減。										

(人)

白里地域		令和元年度 定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		100	33	37	28	26	24	20	26	16	22	13
内訳	1号認定		31		27		23		20		17	
	2号認定（幼稚園希望）		2		1		1		6		5	
②確保方策			100	100	100	100	100	60	60	60	60	60
確保の状況②－①			67	63	72	74	76	40	34	44	38	47
確保の内容		公立白里幼稚園。 ・令和4年度より公立幼稚園の定員改定に伴い、定員40名減。										

2号認定 3～5歳

■教育・保育提供区域■

市全体

(人)

大網白里市全域		令和元年度 申込児童数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		442	459	452	441	472	435	484	485	480	460	468
②確保方策			459	459	459	459	459	459	463	463	463	463
内訳	特定教育・保育施設		459	459	459	459	459	459	463	463	463	463
	特定地域型保育事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確保の状況②－①			0	7	18	▲13	24	▲25	▲22	▲17	3	▲5
確保の内容		公立保育所2か所の定員135人、私立保育所6か所の定員288人。 ・令和2年度より季美の森幼稚園が認定こども園へ移行することに伴い定員36名増。 ・公立保育所は白里保育所、増穂保育所の2か所、私立保育所はあさひ保育園、大竹保育園、みどりが丘保育園、ありんこ親子保育園、あひる保育園、こなか保育園の6か所、認定こども園は季美の森幼稚園1園。 ・令和5年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員4名増。										

地域別

(人)

大網地域		令和元年度 申込児童数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		316	340	321	323	339	317	345	344	345	335	342
②確保方策			324	324	324	324	324	324	328	328	328	328
内訳	特定教育・保育施設		324	324	324	324	324	324	328	328	328	328
	特定地域型保育事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確保の状況②－①			▲16	3	1	▲15	7	▲21	▲16	▲17	▲7	▲14
確保の内容		認可保育所は、大竹保育園、あさひ保育園、みどりが丘保育園、ありんこ親子保育園、あひる保育園、こなか保育園の私立6か所。 ・令和2年度より認定こども園として季美の森幼稚園の1か所。 ・令和5年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員4名増。										

(人)

増穂地域		令和元年度 申込児童数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		74	64	73	67	84	72	93	94	93	86	94
②確保方策			75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
内訳	特定教育・保育施設		75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
	特定地域型保育事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確保の状況②－①			11	2	8	▲9	3	▲18	▲19	▲18	▲11	▲19
確保の内容		公立増穂保育所。										

(人)

白里地域		令和元年度 申込児童数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		52	55	58	48	49	41	46	47	42	39	32
②確保方策			60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
内訳	特定教育・保育施設		60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	特定地域型保育事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確保の状況②－①			5	2	12	11	19	14	13	18	21	28
確保の内容		公立白里保育所。										

市全体

(人)

大網白里市全域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		60	74	41	73	36	72	41	51	27	51	40
②確保方策			56	56	56	56	61	56	56	56	56	53
内 訳	特定教育・保育施設		31	31	31	31	31	31	31	31	40	31
	特定地域型保育事業		19	19	19	19	24	19	24	19	24	16
	認可外保育施設		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
確保の状況②-①			▲18	15	▲17	20	▲11	15	5	29	5	13
確保の内容		公立保育所 1 か所、私立保育所 6 か所、公立小規模保育施設 1 か所、私立小規模保育施設 5 か所、家庭的保育事業所 1 か所、認可外保育施設 1 か所の計 15 か所。 ・令和6年度よりチャイルド・ルーム キッズ・らぶの定員変更に伴い、定員 3 名減。										

地域別

(人)

大網地域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		45	57	30	57	28	57	36	39	20	39	30
②確保方策			46	46	46	46	51	46	46	46	46	43
内 訳	特定教育・保育施設		28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	特定地域型保育事業		12	12	12	12	17	12	12	12	12	9
	認可外保育施設		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
確保の状況②-①			▲11	16	▲11	18	▲6	10	7	26	7	13
		認可保育所は、大竹保育園、あさひ保育園、みどりが丘保育園、ありんこ親子保育園、あひる保育園、こなか保育園の私立 6 か所。 小規模保育施設は、チャイルド・ルーム キッズ・らぶ、ありんこの森保育園、エンジェルハートナーサリー、きょうりゅうのたまご保育園、小規模保育ピッコロの私立 5 か所。 認可外保育施設は、企業主導型保育事業のさららの星ナーサリーの 1 か所。 ・令和6年度よりチャイルド・ルーム キッズ・らぶの定員変更に伴い、定員 3 名減。										

(人)

増穂地域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		14	12	7	11	5	10	4	10	6	10	7
②確保方策			7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
内訳	特定教育・保育施設		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定地域型保育事業		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
確保の状況②－①			▲5	0	▲4	2	▲3	3	▲3	1	▲3	0
確保の内容		小規模保育施設は公立の増穂小規模保育事業所1か所。 家庭的保育事業所は私立の鈴木家庭保育室1か所。										

(人)

白里地域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		1	5	3	5	3	5	1	2	1	2	3
②確保方策			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
内訳	特定教育・保育施設		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	特定地域型保育事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確保の状況②－①			▲2	0	▲2	0	▲2	2	1	2	1	0
		認可保育所の公立白里保育所1か所。										

市全体

(人)

大網白里市全域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		250	274	259	274	284	266	238	261	282	263	245
②確保方策			239	239	239	239	251	239	242	242	242	251
内 訳	特定教育・保育施設		165	165	165	165	165	165	165	165	165	171
	特定地域型保育事業		62	62	62	62	74	62	65	65	65	68
	認可外保育施設		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
確保の状況②－①			▲35	▲20	▲35	▲45	▲15	1	▲19	▲40	▲21	6
確保の内容		認可保育所は、白里保育所、増穂保育所の公立2か所、大竹保育園、あさひ保育園、みどりが丘保育園、ありんこ親子保育園、あひる保育園、こなか保育園の私立6か所。 小規模保育施設は、チャイルド・ルーム キッズ・らぶ、エンジェルハートナーサリー、ありんこの森保育園、きょうりゅうのたまご保育園、小規模保育ピッコロの私立5か所、増穂小規模保育事業所の公立1か所、家庭的保育事業は鈴木家庭保育室1か所。 認可外保育施設は、企業主導型保育事業のきららの星ナーサリーの1か所。 ・令和5年度よりチャイルド・ルーム キッズ・らぶの定員変更に伴い、定員3名増。 ・令和6年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員6名増。 ・令和6年度よりチャイルド・ルーム キッズ・らぶの定員変更に伴い、定員3名増。										

地域別

(人)

大網地域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		193	197	192	207	215	203	185	204	223	202	183
②確保方策			177	177	177	177	189	177	180	180	180	189
内 訳	特定教育・保育施設		120	120	120	120	120	120	120	120	120	126
	特定地域型保育事業		45	45	45	45	57	45	48	48	48	51
	認可外保育施設		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
確保の状況②－①			▲20	▲15	▲30	▲38	▲14	▲8	▲24	▲43	▲22	6
確保の内容		認可保育所は、大竹保育園、あさひ保育園、みどりが丘保育園、ありんこ親子保育園、あひる保育園、こなか保育園の私立6か所。 小規模保育施設は、チャイルド・ルーム キッズ・らぶ、エンジェルハートナーサリー、ありんこの森保育園、きょうりゅうのたまご保育園、小規模保育ピッコロの私立5か所。 認可外保育施設は、企業主導型保育事業のきららの星ナーサリーの1か所。 ・令和5年度よりチャイルド・ルームキッズ・らぶの定員変更に伴い、定員3名増。 ・令和6年度より季美の森幼稚園の定員変更に伴い、定員6名増。 ・令和6年度よりチャイルド・ルームキッズ・らぶの定員変更に伴い、定員3名増。										

(人)

増穂地域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		41	55	35	48	45	44	33	40	44	43	44
②確保方策			35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
内訳	特定教育・保育施設		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	特定地域型保育事業		17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
確保の状況②-①			▲20	0	▲13	▲10	▲9	2	▲5	▲9	▲8	▲9
確保の内容		認可保育所は公立の増穂保育所1か所。 小規模保育施設は公立の増穂小規模保育事業所1か所。 家庭的保育事業所は私立の鈴木家庭保育室1か所。										

(人)

白里地域		令和元年度 申込人数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		16	22	26	19	24	19	20	17	15	18	18
②確保方策			27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
内訳	特定教育・保育施設		27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
	特定地域型保育事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
確保の状況②-①			5	1	8	3	8	7	10	12	9	9
確保の内容		認可保育所の公立白里保育所1か所。										

参考 市外保育所等（保育所、認定こども園、地域型保育事業）の利用者

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2号認定 3～5歳		10	6	13	11	16
内訳	特定教育・保育施設	9	5	12	10	15
	特定地域型保育事業	1	1	1	1	1
3号認定 0歳		1	4	0	1	2
内訳	特定教育・保育施設	1	3	0	0	1
	特定地域型保育事業	0	1	0	1	1
3号認定 1～2歳		6	5	8	13	7
内訳	特定教育・保育施設	4	5	6	11	4
	特定地域型保育事業	2	0	2	2	3

地域子ども・子育て支援事業の確保方策の進捗状況

1 利用者支援事業

■市全域■

子どもや保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の利用について情報収集を行うとともに、それらの利用に当たっての相談に応じ、必要な助言を行い、関係機関等との連絡調整等を実施する事業です。

(か所)

大網白里市全域	実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
②確保方策		1	1	1	1	1	1	1	1	1	
確保の状況②－①		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
確保の内容	令和元年10月より健康増進課で実施。										

2 延長保育事業（保育所）

■市全域■

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所等で引き続き保育を実施する事業です。

(人)

大網白里市全域	実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	120	257	80	250	89	245	131	242	110	239	
②確保方策		257	257	250	250	245	245	242	242	239	
確保の状況②－①		0	177	0	161	0	114	0	132	0	
確保の内容	市内の全認可保育施設で実施。										

3 放課後児童健全育成事業

■教育・保育提供区域■

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等において適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

市全体

(人)

大網白里市全域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		450	498	477	489	478	490	455	472	442	457	482
内訳	低学年	373	393	393	384	394	393	370	378	374	365	410
	高学年	77	105	84	105	84	97	85	94	68	92	72
②確保方策			510	510	510	510	510	510	510	497	510	522
内訳	低学年		374	374	374	374	374	374	374	398	374	443
	高学年		136	136	136	136	136	136	136	99	136	79
確保の状況②-①			12	33	21	32	20	55	38	55	53	40
確保の内容		公立学童保育室、私立学童保育室ともにガイドラインの基準による登録児童数（1人あたりの保育面積 1.65㎡）をもとに現在の利用状況から低学年と高学年の確保量を想定。										

地域別

(人)

大網地域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		337	353	360	349	358	357	348	346	328	332	375
内訳	低学年	285	280	300	276	299	288	289	279	281	266	308
	高学年	52	73	60	73	59	69	59	67	47	66	67
②確保方策			403	403	403	403	403	403	403	391	403	403
内訳	低学年		292	292	292	292	292	292	292	313	292	330
	高学年		111	111	111	111	111	111	111	78	111	73
確保の状況②-①			50	43	54	45	46	55	57	63	71	28
確保の内容		公立学童は季美の森学童保育室、大網学童保育室、瑞穂学童保育室、大網東学童保育室の4か所、私立学童はおおきなぐとにこにくらぶの2か所。										

(人)

増穂地域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		72	99	73	96	73	90	58	84	64	88	64
内訳	低学年	54	77	55	74	57	70	47	65	54	70	64
	高学年	18	22	18	22	16	20	11	19	10	18	0
②確保方策			66	66	66	66	66	66	66	54	66	67
内訳	低学年		48	48	48	48	48	48	48	43	48	67
	高学年		18	18	18	18	18	18	18	11	18	0
確保の状況②－①			▲33	▲7	▲30	▲7	▲24	8	▲18	▲10	▲22	3
確保の内容		増穂学童保育室、増穂北学童保育室の2か所。 出席率が60%の場合の公立学童保育室の教室面積に基づく定員及び登録可能児童数 増穂 34/54 増穂北 32/51 (定員/登録可能数)										

(人)

白里地域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		41	46	44	44	47	43	49	42	50	37	43
内訳	低学年	31	36	38	34	38	35	34	34	39	29	38
	高学年	10	10	6	10	9	8	15	8	11	8	5
②確保方策			41	41	41	41	41	41	41	52	41	52
内訳	低学年		34	34	34	34	34	34	34	42	34	46
	高学年		7	7	7	7	7	7	7	10	7	6
確保の状況②－①			▲5	▲3	▲3	▲6	▲2	▲8	▲1	2	4	9
確保の内容		白里学童保育室1か所。 出席率が60%の場合の公立学童保育室の教室面積に基づく定員及び登録可能児童数 白里 41/65 (定員/登録可能数)										

4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

■市全域■

母子家庭等が安心して子育てしながら働くことができる環境を整備するため、一定の事由により児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童を児童養護施設等で預かる短期入所生活援助（ショートステイ）事業です。

(人日/年)

大網白里市全域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		未実施事業	74	—	72	—	71	—	70	—	69	
②確保方策			0	—	0	—	0	—	0	—	0	
確保の状況②－①			▲74	—	▲72	—	▲71	—	▲70	—	▲69	
確保の内容		市として支援できるサービスを検討。(市外施設の利用料の補助等)										

5 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

■市全域■

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

(人)

大網白里市全域	実績値 (H30)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	236	249	210	246	250	242	215	239	230	236	
②確保方策		実施体制：保健師が11人体制で、1家庭1人で訪問 実施機関：市保健センター（健康増進課）									

6 養育支援訪問事業

■市全域■

乳児家庭全戸訪問事業などにより把握した、保護者の養育を支援することが特に必要と判断される家庭に対して、保健師・助産師・保育士等が居宅を訪問し、養育に関する相談支援や育児・家事援助などを行う事業です。

(件)

大網白里市全域	実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	20	20	20	20	26	20	9	20	21	20	
②確保方策		実施体制：保健師が11人体制で、1家庭1～2人で訪問 実施機関：市保健センター（健康増進課）									

7 地域子育て支援拠点事業

■市全域■

家庭や地域における子育て機能の低下や、子育て中の親の孤独感や負担感の増大等に対応するため、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う事業です。

(人回/年)

大網白里市 全域	令和元年度 見込	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	13,715	18,156	17,949	17,964	12,299	17,496	12,164	17,268	16,356	17,052	
②確保方策		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	
確保の状況 ②-①		3,144	3,357	3,336	9,001	3,804	9,136	4,032	4,944	4,248	
確保の内容	たけのこ（大竹保育園内）、つくしんぼ（みどりが丘保育園内）、すくすく（民間児童館おきなかぶ内）、マリンルーム（子育て支援館内）の4か所で実施。 マリンルームでは、白里地区で出張マリンルームを実施。 確保量は、各施設の定員数の合計×各年度の開設予定日数にて算出。 ・令和2年度からは、みどりが丘子育て交流センターにて新たに1か所開設予定。										

8 一時預かり事業 ① 幼稚園在園児を対象とする一時預かり

■市全域■

家庭において一時的に保育を受けることが困難になった乳幼児について、保育所、幼稚園その他の場所で一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。保護者の急な用事、短期のパートタイム就労やリフレッシュなど子育て家庭のニーズに対応します。

(人日/年)

大網白里市 全域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		6,592	7,508	11,221	7,209	14,063	7,116	15,939	7,040	16,153	6,955	
内訳	1号認定による利用		762		732		722		715		706	
	2号認定による利用		6,746		6,477		6,394		6,325		6,249	
②確保方策			21,870	21,870	21,780	21,780	21,870	21,870	21,870	21,870	21,870	
確保の状況②-①			14,362	10,649	14,571	7,717	14,754	5,931	14,830	5,717	14,915	
確保の内容		私立幼稚園2園で実施。(令和2年度より私立幼稚園1園、認定こども園1園に変更) 確保量は1日の受入可能人数(90人)×各年度の開設予定日数で算出。										

8-2 幼稚園在園児を対象とする一時預かり以外

■市全域■

(人日/年)

大網白里全域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		1,497	1,739	1,793	1,693	1,116	1,661	1,452	1,642	2,039	1,621	
②確保方策			6,075	6,075	6,050	4,840	6,075	4,952	6,075	5,386	6,075	
確保の状況②-①			4,336	4,282	4,357	3,724	4,414	3,500	4,433	3,347	4,454	
確保の内容		大竹保育園、みどりが丘保育園、ありんこ親子保育園、子育て支援館の計4か所で実施。 確保量は1日の受入可能人数(25人)×各年度の開設予定日数で算出。										

9 病児・病後児保育事業

■市全域■

病気の児童について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業です。

(人日/年)

大網白里全域		実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		229	459	57	447	76	439	92	433	90	428	
②確保方策			729	729	726	726	729	726	729	726	729	
確保の状況②-①			270	672	279	650	290	634	296	636	301	
確保の内容		病児保育については、隣接町で行っている病児保育室の利用者に利用料の補助を実施。 確保量は1日の受入可能人数(3人)×各年度の開設予定日数で算出。 令和6年度よりあひる保育園で病児保育を実施開始。 それに伴い、病児保育の助成対象を令和6年5月末までとした。										

10 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

■市全域■

児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

（人日/年）

大網白里全域	実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	323	313	427	304	407	299	319	295	176	291	
②確保方策		313	427	304	407	299	319	295	176	291	
確保の状況②－①		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
確保の内容	利用希望者に対しては、待機が発生することなくサービスを提供することができているため、現在の体制を維持。										

11 妊婦健康診査

■市全域■

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

（人）

大網白里全域	実績値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	264	249	260	246	216	242	252	239	189	236	
②確保方策		実施場所：医師会に加入している全国の産科で対応可能 実施体制：市保健センター（健康増進課）で母子健康手帳を交付 検査項目：厚生労働省が定める望ましい基準に掲げる検査項目 実施回数：14回									

12 実費徴収に係る補足給付を行う事業

■市全域■

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

- ・認定こども園・保育所・幼稚園の利用者との公平の観点から幼児教育・保育の無償化が実施された令和元年10月より新制度に移行していない幼稚園の利用者で低所得または多子の世帯を対象として補足給付事業（副食費の免除）を開始しました。

13 多様な主体の参入促進事業

■市全域■

新規参入事業者に対する相談・助言等巡回支援や、私学助成（幼稚園特別支援教育経費）や障害児保育事業の対象とならない特別な支援が必要な子どもを受け入れるための職員の加配を促進するための事業です。

- ・支援が必要な子どもや家庭に対応するため、民間業者等の参入促進を検討します。

1 令和6年度市内幼稚園・保育施設の児童数・入所保留状況

(1) 児童数の状況

①幼稚園(5.1 現在)

※私立幼稚園のカッコ内の数値は市内児童の数

施設名	定員	3歳	4歳	5歳	合計
瑞穂幼稚園	60	13	25	22	60
増穂幼稚園	60	6	9	11	26
白里幼稚園	60	2	4	7	13
公立計	180	21	38	40	99
大綱木の花幼稚園	300	72(57)	96(67)	85(67)	253(191)
季美の森幼稚園(1号)	154	25(15)	23(11)	24(17)	72(43)
市内合計	634	93	116	124	333

②保育所等(4.1 現在)市外からの受託含む

施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
白里保育所	90	3	7	12	10	19	20	71
増穂保育所	93	—	—	17	23	26	26	92
あさひ保育園	119	4	14	21	21	27	30	117
大竹保育園	63	2	5	12	15	18	17	69
みどりが丘保育園	170	9	24	30	34	34	34	165
ありんこ親子保育園	34	—	—	4	10	10	10	34
あひる保育園	23	2	3	6	4	4	5	24
こなか保育園	27	3	4	6	5	5	6	29
季美の森幼稚園(2号)	46	—	—	4	12	13	15	44
市外保育所等		1	0	4	6	2	7	20
保育所計	665	24	57	116	140	158	170	665
チャイルドルームキッズらぶ	12	—	7	4	—	—	—	11
エンジェルハートナーサリー	12	4	4	5	—	—	—	13
ありんこの森保育園	12	2	4	6	—	—	—	12
きょうりゅうのたまご保育園	12	3	2	7	—	—	—	12
小規模保育ピッコロ	12	—	5	7	—	—	—	12
鈴木家庭保育室	5	1	1	3	—	—	—	5
増穂小規模保育事業所	19	4	13	—	—	—	—	17
市外地域型		1	1	2	1	—	—	5
地域型保育事業計	84	15	37	34	1	—	—	87
合計	749	39	94	150	141	158	170	752

※地域型保育事業・・・主に0～2歳児を保育する認可保育事業(定員19名まで)

(2) 保育施設入所保留状況 (4.1 現在)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
入所保留児童数	5	8	3	0	1	6	23
うち待機児童(国基準)	1	0	0	0	0	0	1

※入所保留・・・入所申込書を提出している児童のうち、入所を保留している児童数

(希望の保育所入れないため、待機している児童を含む)

※待機児童・・・入所保留児童数から国の調査基準に基づき育児休業取得中や、
特定の保育所を希望している者を除いた児童数

2 令和6年度学童保育利用児童数状況(5.1現在)

施設名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
大網学童	63	54	44	35	13	1	210
瑞穂学童	21	16	16	5	0	0	58
増穂学童	14	14	8	0	0	0	36
白里学童	14	12	12	5	0	0	43
大網東学童	22	16	19	0	0	0	57
増穂北学童	12	12	4	0	0	0	28
季美の森学童	10	4	6	2	0	3	25
公立学童計	156	128	109	47	13	4	457
おおきなかぶ	5	6	6	2	2	4	25
合計	161	134	115	49	15	8	482

第2期大網白里市子ども・子育て支援事業計画 事業評価のまとめ

1 基本項目及び基本施策ごとの取組み状況の評価

評価基準

- A：計画以上の成果があった
- B：概ね計画どおり実施した
- C：計画どおり実施できなかった
- D：未実施

基本目標1 子ども 質の高いきめ細やかな子育て支援

「基本目標1 子ども 質の高いきめ細やかな子育て支援」の評価をみると、B評価が56件と最も多く、全体の93%となっています。

基本目標1	A	B	C	D	—
子どもが人として守られるための取組の推進	0	10	1	0	0
教育・保育の提供体制の確保	0	8	0	0	0
子どもたちの健康と成長の確保・増進	0	15	0	1	0
学校教育の推進	1	11	0	0	0
支援が必要な子ども・家庭への取組の推進	1	12	0	0	0
合計	2	56	1	1	0

基本目標2 家庭 ゆとりある安心な子育て

「基本目標2 家庭 ゆとりある安心な子育て」の評価をみると、B評価が58件と最も多く、全体の73%となっています。

基本目標2	A	B	C	D	—
家庭の子育て力の向上	0	3	1	0	0
安心できる妊娠・出産と育児への支援	1	21	8	1	0
ゆとりある子育て環境づくり (地域子ども・子育て支援事業)	3	27	5	2	0
仕事と家庭生活の両立の推進	0	7	1	0	0
合計	4	58	15	3	0

基本目標3 地域 見守り寄り添う子育て支援

「基本目標3 地域 見守り寄り添う子育て支援」の評価をみると、B評価が21件と最も多く、全体の79%となっています。

基本目標3	A	B	C	D	—
子ども・子育てを理解する地域づくり	0	2	2	0	0
地域ぐるみの子育て・地域の子育て支援	0	9	3	1	0
生活環境の整備	0	11	0	0	0
合計	0	22	5	1	0

全目標	A	B	C	D	—
合計	6	136	21	5	0

2 各事業の取組み状況など

基本目標1 子ども 質の高いきめ細やかな子育て支援

1 子どもが人として守られるための取組の推進

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子どもの人権尊重・人権教室	○「子どもの権利条約」の趣旨に基づき、子どもの人権尊重、保護を促進する。	B	(子育て支援課) 児童虐待の恐れがある児童や保護の必要がある児童について児童相談所に送致等実施した。	援助依頼1件 送致1件	今後も児童の安全を最優先に児童相談所と連携していく。	地域づくり課 子育て支援課
	○人権養護委員が小学校において人権教室を開催し、人権尊重の基本的な考え方、重要性を深める。	B	(地域づくり課) 市内全小学4年生と1年生を対象に「いじめ」に対して考えるための教室を開催した。	4年生 13学級 354名 1年生 12学級 327名	今後も継続して教室を開催していく。	
子どものこころのケア	○不登校や引きこもり等の問題に対応し、立ち直り支援に取り組む。	B	いじめ長欠解消対策及び生徒指導担当者会議を年3回実施した。いじめ・不登校対策について、講師を招き研修を行うとともに、各小中学校間で情報交換を行い連携を図った。	いじめ長欠解消対策及び生徒指導担当者会議…年3回	いじめ長欠解消対策及び生徒指導担当者会議を年3回実施する。不登校の児童生徒へのオンライン授業の推進を図るとともに、千葉県教育委員会が実施しているオンライン授業配信も周知していく。	管理課
	○山武郡市広域行政組合教育委員会とハートフルさんぶ「大網白里教室」の活動について、連携を図っていく。	B	山武郡市広域行政組合教育委員会と連携し、ハートフルさんぶ「大網白里教室」に通級できるように支援した。市内小中学校で10名程度の児童生徒が通級した。山武郡市教育相談センターと連携し、不登校児童生徒の適応指導教室での活動について連携を図った。	ハートフルさんぶ「大網白里教室」に通級…約10名	山武郡市広域行政組合教育委員会と連携し、ハートフルさんぶ「大網白里教室」に通級できるように支援する。山武郡市教育相談センターと連携し、不登校児童生徒の教育相談センターでの活動について連携を図る。	
	○子どもと親の相談員やスクールカウンセラーを配置し、子どもたちが相談しやすい場所を提供する。	B	スクールカウンセラーは千葉県教育委員会に派遣を依頼し、全小中学校に配置した。あわせて、子どもと親の相談員を3中学校に配置し、年間1084回の教育相談を行った。相談体制については、すべての小・中学校に周知した。	スクールカウンセラー…中学校週1～2回、小学校月2回 子どもと親の相談員の合計相談回数…年間1084回	千葉県教育委員会に派遣を依頼し、全小中学校に配置する。あわせて、子どもと親の相談員を3中学校に配置し、教育相談活動の充実を図る。相談体制については、すべての小・中学校に周知する。	
子どもの居場所づくり	○民間と協働しながら子どもの居場所づくりを進めていく。	B	(生涯学習課) 小学生を対象としたイベントを一覧したチラシを配布し、子どもたちが参加しやすい環境を整えた。	1回(夏季休業イベント)	今後も状況を見極めて実施していく。	子育て支援課 生涯学習課
	○既存スペースを利用した子どもの遊び場所を当面中学校区域ごとに整備を図る。	B	(子育て支援課) 子育て交流センター、子育て支援館、いずみの里にて子育て支援センターを展開した。		今後も継続して実施する。	
	○子どもの活動を見守るボランティアの育成を図る。	C	(生涯学習課) 青少年相談員による防犯パトロールを実施しているが、年1～2回程度となっている。夏休み子ども教室については、所期の目的を達成したため、終了した。	1回(防犯パトロール)	既存の各種団体に見守り活動について協力を依頼していく。	
	○子育て交流センターに民間事業者のノウハウを活用した指定管理者制度を導入し、交流拠点としての機能充実を図る。	B	(子育て支援課) 指定管理制度を導入し、交流拠点、充実した子育て世帯への支援サービスの実施を行った。		今後も継続して実施する。	

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子ども会活動	○地域の子ども会活動と社会福祉協議会、児童委員が連携を図り、地域で特色のある活動が展開できるよう活動を支援する。	B	市子ども会育成連絡協議会と社会福祉協議会白里支部が海岸の美化作業を通して、お互いの交流を深め、今後の子ども会活動や地域福祉活動の推進に寄与した。	白里海岸の清掃及び参加者へのミニイベントを実施。	今後も継続していく。	生涯学習課 (社会福祉協議会)
	○市と市子ども会育成連絡協議会共催の養成講座にて、子どもたちの自主的な活動を支えながら大人と子どものパイプ役となるジュニア・リーダーを育成する。	B	子ども会活動などをリードし、子どもと大人(育成者)をつなぐパイプ役であるジュニア・リーダーを育成するため、ジュニアリーダー養成講座を実施。	ジュニア・リーダー養成講座として、子ども会活動や地域貢献活動、野外活動などを実施。	今後も継続していく。	

2 教育・保育の提供体制の確保

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
教育・保育認定	○教育及び保育を受けようとする児童の認定を行う。	B	教育及び保育を受けようとする児童の認定を行った。	教育及び保育の支給認定申請書の提出のあった児童全員に対し認定を行った。	今後も継続して実施する。	子育て支援課
特定教育・保育施設等の利用調整	○教育及び保育認定を受けた児童の入所希望に合わせた利用調整を行う。	B	教育及び保育認定を受けた児童の入所希望に合わせた利用調整を行った。	教育及び保育認定を受けた児童の入所希望に合わせ約280名の利用調整を行った。	今後も継続して実施する。	子育て支援課
認定を受けた幼稚園・保育所への施設型給付	○教育及び保育認定を受けた児童が入所する特定教育・保育施設に運営費として施設型保育給付を行う。	B	児童が利用した特定教育・保育施設に対し、施設型給付を行った。	施設数:36施設 支給額:672,470,138円	今後も継続して実施する。	子育て支援課
認定を受けた施設への地域型保育給付	○市の認可・認定を受けた特定地域型保育施設に対し運営費として地域型保育給付を行う。	B	児童が利用した特定地域型保育施設に対し、地域型保育給付を行った。	施設数:10施設 支給額:201,767,490円	今後も継続して実施する。	子育て支援課
幼児教育・保育の無償化にかかる施設等利用給付	○幼児教育・保育の無償化の対象児童に対し施設等利用給付を行う。	B	対象児童に対し、施設等利用給付を行った。	対象児童数:226人 支給額:64,234,230円	今後も継続して実施する。	子育て支援課
新たな教育・保育施設設置の検討	○住民ニーズに合わせた施設設置の検討を行う。	B	住民ニーズを把握するため、未就学児童及び就学時の保護者に対し、アンケート調査を実施した。	未就学児童の保護者1,262世帯 就学時の保護者750世帯	計画に基づき、施設設置の検討を行う。	子育て支援課
児童手当	○児童を養育している保護者に手当を支給する。	B	支給対象者に適正に手当を支給した	扶助費決算額554,395,000円	今後も継続して実施する。	子育て支援課
認定こども園開設の検討	○白里地区の公立幼稚園・公立保育所について児童数の推移を見ながら認定こども園への移行の検討を行う。	B	担当課で実務的な話し合いを重ねている。	月1回程度	令和7年度開園	管理課

3 子どもたちの健康と成長の確保・増進

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
乳幼児の健康診査・歯科健康診査	○乳幼児の健康診査は、子どもの発育の状況の把握、育児の状況等を把握する機会として有効であり、継続して実施していく。	B	乳児期は受診券を含め3回の健診、1歳6か月児健診9回/年、3歳児健診10回/年実施。必要に応じて継続支援を実施。	受診率 5か月児乳児健診99.1% 1.6歳児健診96.5% 3歳児健診94%	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
	○歯の健康と生活習慣との関係について、正しい知識の普及、啓発を継続して実施する。	B	2歳児歯科健診10回/年。希望のあった幼稚園・こども園・保育所(園)に対し巡回歯科指導を実施。また、市立幼稚園では保護者向け講話を実施。	受診率 2歳児歯科健診77.4% 3歳児健診う蝕罹患率5.24% 幼稚園・こども園・保育所(園)巡回歯科指導実施数 13施設 延園児1523名 保護者213名	1歳6か月児・3歳児健診の他、市独自に2歳児歯科健診を実施し、3歳児健診でのう蝕の減少に努める。3歳以降は幼稚園、こども園、保育所(園)においてむし歯予防の啓発を実施する。	
予防接種事業	○予防接種法に定める予防接種を適切な時期に接種できるよう周知を図る。	B	各種健診等の個別通知に接種勧奨案内を同封した。また、健診がない年齢に対しては、未接種者へ個別通知を行った。ホームページ・広報・ガイドを利用し、周知を行った。	健診時同封53回/年 個別通知31回/年	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
乳児家庭全戸訪問事業	○子どもの発育と育児状況を把握し、母親が産後を安心して過ごせるよう適切な指導を実施していく。	B	原則、生後4か月までに全戸訪問を実施。	実施率:93.2%	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
乳幼児の事故防止	○乳幼児の事故防止やSIDS(乳幼児突然死症候群)予防について、健康診査や教室の機会を活用し啓発する。	B	乳児全戸訪問、乳児相談、3歳児健診で資料配布し、乳児相談では集団指導を実施。	乳児相談12回/年、3歳児健診10回/年	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
離乳食講習会	○正しい食習慣の定着を図る第一歩として、様々な情報提供をしながら講習会を開催する。	B	離乳食の進め方、作り方などを保護者に対し行った。令和5年度から見学のみ参加も可とした。	6回/年 59組	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
「食育」推進事業	○幼稚園・保育所等と連携し、健康診査や講座等で栄養、歯の健康、食べる楽しさを普及する食育を推進し啓発していく。	B	(健康増進課) 幼稚園・保育園と連携し、園児・保護者に対し、バランスのよい食事、正しい箸の持ち方を啓発した。	10園 園児363名 保護者10名	幼稚園・保育所等と連携し、バランスの良い食事のとり方を普及する。園児への食育を通し、保護者への啓発を行う。	子育て支援課 健康増進課
	○子どもの孤食や偏食を減少させると同時に親子や他の家族との触れ合いを図るため、食生活改善協議会と協力して親子クッキング教室を開催する。(就労している子育て家庭の親子も参加しやすい日時の設定に配慮する)	B	(健康増進課) 食生活改善協議会と協力し、夏休みにこどもクッキングを開催した。感染症対策のため、子どものみの参加とし、保護者には資料提供を行った。	2回/年 27名	子どもに自分で料理を作る体験をさせたり、栄養についての知識を持たせるため、食生活改善協議会と協力しこどもクッキングを開催する。開催回数は、参加希望者に応じて検討する。	
	○保育所において年長児を対象としたクッキングの開催や季節の行事に合わせた行事食を提供することにより子どもへの食育を推進する。	B	(子育て支援課) こどもの年齢に応じ、クッキング、野菜の皮むき、お話し会を実施し野菜にふれる。また、旬の食材を使用し季節の行事に合わせた食の提供を行った。	クッキング年3回	今後も継続して実施していく。	
	○民間と協働しながら、食育の推進を進めていく。	D	-	-	-	

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
次代の親の育成に向けた体験機会	○児童生徒が早期から職場体験ができる機会の拡充を図る。	B	(管理課) 市商工会の会員や地元の事業所の協力を得て、増穂中学校と白里中学校の第2学年で職場体験を実施した。		市商工会の会員や地元の事業所の協力を得て、中学校第2学年で職場体験を実施する。	管理課 税務課
	○健全な納税者意識を養うことを目的とした租税教室を行い、児童生徒に対し、納税の重要性を教える。	B	(税務課) 健全な納税者意識を養うことを目的とした租税教室を行い、児童に対し、納税の重要性を教える。	市内小学校7校	税への関心を高め、税の必要性について理解してもらうため租税教室を開催する。 市内全小学校で開催する。	
	○インターネットの正しい利用方法を指導し、ネット犯罪やいじめの防止に取り組む。	B	(管理課) 各学校で情報モラルに関しての指導を実施した。		大網白里市教育委員会で作成した情報モラル教材を活用して、情報モラルに関しての指導を実施する。	
思春期保健	○思春期性教育について、学校保健と地域保健分野が連携し、正しい知識の啓発として薬物乱用防止教室、喫煙防止教室等に取り組む。	B	(健康増進課) 学校保健と連携し、小学校5年生、中学校2年生を対象に、二次性徴における身体と心の変化について学び、命の大切さや自分や周囲の者を大切にすることを学ぶ授業を実施。	市内小学校6校 中学校1校 11回/年	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課 管理課
		B	(管理課) 小学校3年生からの保健の授業を中心として、山武健康福祉センターや千葉県警と連携し、出前授業等を実施している。	各校年1回程度	今後も継続して実施していく。	
	○学校保健と地域保健の連携を深める機会として、連絡会議を継続して実施する。	B	(健康増進課) 養護教諭部会に参加し、学校保健と地域保健の連携を図った。	1回/年	今後も継続して事業を実施していく	

4 学校教育の推進

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
公立幼稚園の統廃合の検討	○利用人数の動向、利用者の実態を把握し統合の検討をする。	A	令和6年度大網幼稚園・瑞穂幼稚園の統合		令和7年度白里幼稚園と白里保育所の統合	管理課
幼児教育	○地域の動向、利用者のニーズを把握し、幼稚園と保育所との一元化を含めた連携について検討をする。	B	幼保調整会議を開催し、情報と課題を共有する。	幼保調整会議を開催し、情報と課題を共有した。	今後も継続して実施していく	管理課
	○教育内容の充実を図るため、職員研修を実施する。	B	専門講師を呼び幅広い研修ができています	全体研修年間6回 個人申し込みで各自年数回 など	引き続き資質向上に努める	
	○より良い教育のための幼稚園定員の検討。	B	定員を減らしきめ細やかな保育ができています			
学校教育施設の充実	○学校教育施設の補修・改修等については、緊急性・重要性を踏まえた適切な整備に努める。	B	大網白里市学校施設長寿命化計画の趣旨を踏まえ、緊急性・優先度を考慮しながら計画的な改修を実施した。	【トイレ洋式化】 小中体育館 100% 小中学校校舎 55.1% 幼稚園園舎 65.1%	大網白里市学校施設長寿命化計画の趣旨を踏まえ、緊急性・優先度を考慮しながら計画的な改修を実施していく。	管理課

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
確かな学力の向上	○ドリル学習の充実や少人数指導を継続して実施する。	B	ドリル学習の充実を図り、少人数指導についても継続して実施した。		Aドリルを活用して、児童生徒に主体的に学習に取り組める環境をつくる。少人数指導については継続して実施する。	管理課
	○総合的な学習の時間は、学校間で情報交換を行い、充実した内容となるように支援に努める。	B	総合的・横断的な学習や探究的な学習を各小中学校の創意工夫のもと実施した。		総合的・横断的な学習や探究的な学習を各小中学校の創意工夫のもと実施する。	
	○男女共同参画社会について、学校生活、授業の中での展開を継続して実施していく。	B	社会科、家庭科、理科、特別活動等の学習を通して実施した。		社会科、家庭科、理科、特別活動等の学習を通して実施する。	
	○幼・小・中学校合同の連携授業を継続して実施していく。	B	年1回の小中授業参観と協議会で中学校区ごとに情報交換を行い連携を図った。幼小では、学校ごとに連携を図った。		授業参観や情報交換を中学校区ごとに小中学校で行い連携を図っていく。幼小では、学校ごとに連携を図っていく。	
開かれた学校づくり	○余裕教室の有効な活用を促進、検討する。	B	少人数指導や学童、放課後子ども教室、PTA活動に活用した。		今後も継続して実施していく。	管理課
	○総合的な学習の時間等で、地域人材の協力を得る。	B	小学校の生活科や社会科の体験活動、中学校の職場体験で地域のお年寄りや事業所の方の協力を得て授業等を実施した。		小学校の生活科や社会科の体験活動、中学校の職場体験で地域のお年寄りや事業所の方の協力を得て授業等を実施する。	
	○学校評議員制度の活用を継続して、関係者評価を各学校で実施し、学校運営への有効な活用を促進する。	B	各学校において学校評議員会を開催し、学校の教育活動全般について意見をいただいている。	各学期に1回ずつ学校評議員会を実施した。	今後も継続して事業を実施していく。	

5 支援が必要な子ども・家庭への取組の推進

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
要保護児童等への対策	○家庭相談員が、支援を必要とする子どもや家庭に関わることを強化していく。	A	子ども家庭支援員を4名配置し、相談支援体制の充実を図った。	児童相談新規受理件数111件	今後も継続して実施する。	子育て支援課
	○児童虐待防止対策として、要保護児童対策地域協議会を開催し、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応並びに自立に至る支援を行うことを目的として、関係各課・各機関と連携し、問題解決にあたっていく。	B	関係各課、関係機関と連携し、要保護児童に関する情報共有及び連携を図った。	表者会議1回、実務者会議4回、個別支援会議26回	今後も継続して実施する。	
	○市内で行われている様々な取組のひとつひとつを効果的につなげていくための支援を積極的に推進する。	B	関係各課、関係機関と連携し、要保護児童に関する情報共有及び連携を図った。	表者会議1回、実務者会議4回、個別支援会議26回	今後も継続して実施する。	
	○市職員の専門職の育成と人員配置の強化を行う。	B	社会福祉士等の専門職の配置を図った。	社会福祉士1名	今後も専門職の配置を継続していく。	
障害のある児童生徒に対する総合的支援	○特別支援教育ネットにより、就学前から義務教育までの特別支援教育について、関係機関の連携を図っていく。	B	(管理課) 年3回の特別支援教育ネット担当者会議を実施し、情報交換を行いながら、スムーズな就学指導、切れ目のない支援態勢の構築に努めている。	大網白里特別支援教育ネット担当者会議…年3回	引き続き、連携を図る。	管理課 子育て支援課

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
障害福祉サービスの提供	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法に基づき、障害のある子どもの自立と生活を支援するため、適切な利用を促進する。	B	(社会福祉課) 障害のある子どもに対し、障害児支援利用計画に基づく障害児通所給付の決定を行い、生活能力向上に必要な訓練、社会との交流促進、その他必要な支援を提供した。	受給者証交付者数:194人(令和6年3月末現在)	今後も継続的に事業を実施できるよう努める。	社会福祉課 子育て支援課
	○児童発達支援事業として発達にゆやかな児童に対しよりきめ細かい療育を実施する。	B	(社会福祉課) 児童発達支援の利用者に必要な支援を提供した。	児童発達支援利用者数93人(令和6年3月末現在)	今後も継続的に事業を実施できるよう努める。	
		B	(子育て支援課) 適切に必要な支援を提供するため、支援の目標や内容を明確化し、療育を行った。	個別支援計画の作成、評価及びモニタリング	今後も継続して実施する。	
ひとり親家庭の自立支援	○ひとり親家庭の自立支援に向けて、関係課及び関係機関が協力して多面的な対応ができる体制を確保し、支援にあたっていく。	B	未就労のひとり親に対して、社会福祉課やくらしサポートが行っている就労支援事業へ相談者をつなげた他、高等職業訓練促進給付金等の支援に繋がった。	高等職業訓練促進給付金3名	今後も継続して取り組んでいく。	子育て支援課
子どもの貧困対策	○子育てをしている貧困家庭の把握に努め、学習支援などを実施していく。	B	(社会福祉課) 要保護・準要保護世帯の中学3年生を対象に普段使用している教材を用いて学習の学び直しや学習の習慣づけを行う。	1施設	今後も継続的に事業を実施できるよう努める。	社会福祉課 管理課
		B	(管理課) 経済的理由により就学が困難と判断できる児童生徒の保護者に対し、就学援助費として義務教育を受けるために必要な経費を給付している。	・小学校228名 17,331,254円 ・中学校134名 13,072,283円	今後も継続して実施していく。	
実費徴収に係る補足給付を行う事業	○保護者の世帯所得の状況等を勘案して、幼稚園・保育所等に対して保護者が支払う費用等の助成をする。	B	子ども・子育て支援交付金の交付要綱と同様の補助額にて、副食費補助を行った。	対象者:17名 給付額:640,517円	今後も子ども・子育て支援交付金と同額の補助を行っていく。	子育て支援課
多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	○支援が必要な子どもや家庭に対応するため、民間業者等の参入促進を検討します。	B	病児保育事業について、民間業者等の届出の受理を行った。	1件(あひる保育園)	法人格にとらわれて届出を受理しないことはないため、事業としては、廃止とするが、新規事業者の参入がある場合は、都度支援を行う。	子育て支援課 社会福祉課

基本目標2 家庭 ゆとりある安心な子育て

1 家庭の子育て力の向上

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
親育て活動	○父親の子育て参加について、男女が協力して子育てする意義、親としての自覚、子育ての知恵など、子どものための親育てとなるように、保健活動の中で啓発を行っていく。	B	マタニティ教室では、全課を通して夫婦での来所を可能としている。妊婦体験ジャケットの着用や沐浴実習を体験することに加えて、出産後の育児協力をイメージしてもらう時間をつくる等している	夫を含む家族の参加者延人数 32人	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
	○子どもの病気等の対応について、健康診査や乳児相談等で周知・啓発を行う。	B	乳児全戸訪問時に資料を配布	訪問者全数	今後も継続して事業を実施していく	
	○子どもと家庭を考える機会、地域で学校を身近に感じる機会としての講座等を開催する。	B	講演会で親子遊びを実施。家庭でもできるような遊びを紹介。手作りおやつについては感染症対策のため未実施。レシピの配布と試供品の提供を実施。	1回	親子の触れ合い遊びについては、赤ちゃん教室で周知する。食育については、講演会でレシピの配布や試供品の提供を実施していく。	
家庭教育学級	○親子の対話機会の創出、各幼稚園、小・中学校での講演会、就学前の子育て談話など、子育て学習の機会拡充を図る。	C	新型コロナウイルスの影響で、思うように事業展開できなかった。令和5年度は元NHKキャスターの天野ひかり氏を招いて子育てに関する講演会を開催した。	2回 (令和2年度から隔年実施となった)	隔年で実施するため、令和7年度、9年度、11年度に実施する。	生涯学習課

2 安心できる妊娠・出産と育児への支援

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子育て世代包括支援センター	○妊娠届出時の保健指導を拡充し、妊娠・出産に向けて、必要な情報が得られ、育児のスタートが好ましい状態となるように支援する。また、フォローが必要な妊婦にケアプランを作成する。	B	全ての妊婦にプランを作成している。	妊娠届出数174件	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
	○妊娠後期に電話相談活動を行う。	B	妊娠後期にSMSによるアンケートを送付し回答してもらっている。アンケートの結果により、面談等を実施している。	アンケート回答率87.6%	今後も継続して事業を実施していく	
	○妊婦に対する気遣いなど、やさしい環境づくりについて、広く市民の関心を喚起するために、マタニティマークの配布を行う。	B	母子手帳交付時にマタニティキーホルダーとステッカーを配布。	174件	今後も継続して事業を実施していく	
	○飲酒・喫煙の正しい認識を啓発する。	B	妊娠届出時に飲酒・喫煙の胎児への影響について説明。	妊婦飲酒:0件 妊婦喫煙:2件 パートナー喫煙:77件	今後も継続して事業を実施していく	
	○母性健康管理指導事項連絡カードの利用について啓発する。	B	産休・育休制度や妊婦健診・体調面での配慮等の相談に、連絡カードを配布して説明。	3件/年	今後も継続して事業を実施していく	
妊婦健康診査	○適切な受診を通じ、安心して妊娠・出産を行えるように指導していく。	B	母子手帳交付時に妊婦健診と受診券の利用について説明する。県外出産の場合は健診費用についての説明も併せて実施。	189件	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
マタニティ教室	○安心して妊娠・出産が行えるように継続して実施していく。	B	初妊婦と第2子以降の希望者へハガキで通知。	妊婦参加者:66名(延)	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
	○父母になる対象者の参加を促進する。	B	マタニティ教室では、全課を通して夫婦での来所を可能としている。夫(パートナー)にはマタニティジャケットの着用や沐浴実習を体験してもらう他、アンケートを実施し、内容を改善している。	家族(パートナー含む)参加者:32名(延)	今後も継続して事業を実施していく	
妊婦家庭訪問事業	○妊娠中に保健師や保健推進員等と連携して、訪問や電話相談活動を行う。	B	妊婦訪問は常勤保健師が対応。様々な事情により、妊娠期から継続的な支援が必要な妊婦へ訪問等で相談対応を実施。	妊婦訪問実数:3名	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
乳幼児の相談 (乳児相談、ことばの相談、発達相談)	○外部講師によるケースに合わせたことばの相談や発達相談指導を実施する。	B	計画通り実施。	発達相談:28名(延)ことばの相談:110名(延)育児相談:31名(延)	発達相談以外の相談事業は今後も継続して実施していく	健康増進課
	○電話相談を常時受け付ける。	B	随時相談を受け付けた。	母子保健関係電話相談:約200件(延)	今後も継続して事業を実施していく	
養育支援訪問事業	○訪問支援が必要と思われる家庭に対し、支援を行う。	B	継続的な支援が必要な家庭へ訪問や電話相談で支援を実施。	要支援家庭数:21件	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
幼児教室(らっこ・ひよこ教室)	○発達の遅れが気になる幼児の発達を促すとともに、母子関係の深まりの強化、育児不安の軽減を図る。	B	健診事後教室として実施。保育園や幼稚園へ入る前の保護者の不安解消や、児が集団生活へ慣れる場として実施	参加者数 らっこ:200名(延) ひよこ:198名(延)	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
簡易マザーズホーム(きりん幼児教室)	○心身の発達に心配のある就学前児童に日常生活の基本動作や集団生活への適応訓練を行う。	B	児童に対しては、適切な療育を提供し、保護者の悩み等に対しては相談支援を行った。	就学相談 個別支援計画 モニタリング	今後も継続して実施する。	子育て支援課
	○児童発達支援事業として発達がゆるやかな児童に対しよりきめ細かい療育を実施する。	B	適切に必要な支援を提供するため、支援の目標や内容を明確化し、療育を行った。	個別支援計画の作成、評価及びモニタリング	今後も継続して実施する。	
幼稚園・保育所との連携強化	○定期的に地域の保育の場を訪問して連携を強化し、子どもが適切な援助を受け、すこやかに成長できるように支援していく。	B	幼稚園・保育所(園)との連絡会として、保健師が訪問して集団生活の様子を見聞かし、支援方法の検討を行った。希望する園には、大網白里特別支援学校教諭と同行して、さらに個別性のある支援方法を提示。	18園	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
	○大網白里特別支援学校とも連携を図り支援を強化していく。	B	3歳児健診会場へ大網白里特別支援学校教諭に来所してもらい、健診会場での様子観察、保護者相談を依頼	10回/年	今後も継続して事業を実施していく	
	○健康診査未受診者を把握し、虐待の早期発見をする。	B	計画通り実施した。	数回/年(確認が必要となるタイミングで)	今後も継続して事業を実施していく	
すくすくひろば	○子育て中の保護者と子ども同士の交流の場として実施する。	C	R5年度はすくすく広場中止。子育て交流センターや支援館等の利用を案内した。	なし	赤ちゃん教室の実施	健康増進課
保健推進員事業	○保健推進員が各種保健活動に協力し、地域とのパイプ役となっていることから、地域の声を反映した活動を行えるよう支援する。	C	感染症対策と保健推進員の高齢化により、保健推進員事業を廃止。	なし	なし	健康増進課

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
親子ふれあい絵本運動 (ブックスタート)	○乳児健康診査時に絵本の読み聞かせを行い、絵本の持つ言葉の素晴らしさを伝えていく。	C	(健康増進課) 感染症対策のため、読み聞かせを中止。乳児健診時に絵本の配布は実施。	なし	絵本の配布は継続して実施する。	健康増進課 生涯学習課 (図書室)
		C	(生涯学習課) 新型コロナウイルスの影響で、絵本の読み聞かせは実施できなかった。コロナ禍後も読み聞かせは再開していない。	—	令和6年度から別事業として「赤ちゃん教室」を立ち上げ。図書室司書が保護者向けにわらべうたを実施する。	
	○保健推進員が読み聞かせの力を身につけ、健康診査や教育活動で活かしてもらえるように支援する。	C	(健康増進課) 感染症対策と保健推進員の高齢化により、保健推進員事業を廃止。	なし	なし	
		C	(生涯学習課) 新型コロナウイルスの影響で、絵本の読み聞かせ研修会は実施できなかった。コロナ禍後も読み聞かせは再開していない。		令和6年度から別事業として「赤ちゃん教室」を立ち上げ。図書室司書が健康増進課職員にわらべうたを教える。	
	○ブックスタート時に司書が読み聞かせに参加し、親子への図書室利用案内を行う。	C	(健康増進課) 感染症対策のため、読み聞かせを中止。乳児健診時に絵本の配布は実施。	なし	赤ちゃん教室で司書による触れ合い遊びと図書室利用案内を行う。	
		C	(生涯学習課) 新型コロナウイルスの影響で、絵本の読み聞かせは実施できなかった。コロナ禍後も読み聞かせは再開していない。		令和6年度から別事業として「赤ちゃん教室」を立ち上げ。図書室利用案内配布や親子向けの図書案内を行う。	
歯っぴーモグモグ教室	○ブラッシング実習や試食などを通して歯の健康と良い食習慣の確立について啓発するとともに、絵本の読み聞かせや手遊びを導入し、楽しく子育てができるよう育児支援を行う。	B	1歳1～3か月児を対象に4回/年実施。 参加者に対して集団指導を実施し、必要に応じて個別相談を行った。	参加者36組79名	1歳児を対象にむし歯予防の話とブラッシング実習、食事の話、絵本の読み聞かせと親子遊び等を行う。	健康増進課
出産祝金	○次代の地域社会を担う新生児の誕生を祝福し、第3子以降の出生に際して、出産祝金を交付する。	D	出産・子育て応援交付金事業など出産・子育て支援策が拡充されたため、令和4年度をもって事業を終了。	0	なし	子育て支援課
小児救急医療体制の整備	○広域的な医療体制の動向を踏まえて医療体制の確保に努める。	B	夜間急病診療所において、週2回(水・金)小児科医師の診察を実施している。	年中無休	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
	○かかりつけ医の定着を図り、広報等で救急医療体制の情報提供に努める。	B	子育てサポートブックの周知(配布とweb)に加え、乳児全戸訪問でかかりつけ医について説明	訪問者全数	今後も継続して事業を実施していく	
子ども医療費助成	○0歳から中学校卒業までの入院・通院に係る保険診療内の医療費負担の助成を行う。	A	助成対象を高校生まで拡充し、医療費助成を実施した。	扶助費決算額 154,963,643円	今後も継続して取り組んでいく。	子育て支援課

3 ゆとりある子育て環境づくり(地域子ども・子育て支援事業)

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
育児サークル	○身近な地域での活動、自主的な活動を支援する。	B	社会福祉協議会主催の子育てサロンへ歯科衛生士、栄養士、食生活改善員が参加	5回/年	今後も継続して事業を実施していく	健康増進課
地域子育て支援センター事業(地域子育て支援拠点事業)	○地域の子育て支援の拠点として、相談や情報提供などが活発になるように支援し、活動の輪を拡充するため、子育て支援館、子育て交流センターで実施していく。	B	子育て支援館、子育て交流センターで事業を実施した。事業を実施した民間施設に補助金を交付した。	4施設+週1日出張ひろば1施設	地域の子育て支援の拠点として、相談や情報提供などが活発になるように支援する。(市内常設は4か所、出張の支援センター1か所の計5か所で事業を実施)	子育て支援課
子育てサロン	○社会福祉協議会が市内3つの公共施設で子育てサロンを実施しており、未就学児を対象に親子の遊び場として継続して実施していく。	B	地域内でのふれあいや仲間づくりを推進するため、おやつ作り、乳幼児応急処置法、お楽しみ会などをボランティアが運営しています。	3施設	今後も継続して事業を実施していく。	子育て支援課(社会福祉協議会)
幼稚園・保育所の園庭開放	○幼稚園、保育所の園庭を一般に開放し、幼稚園・保育所を知ってもらう。	B	(子育て支援課) 各公立保育園は毎週水曜に園庭開放を行った。		今後も継続して実施する。	子育て支援課 管理課
		B	(管理課) 各幼稚園によって日数は異なるが、水曜日や木曜日を設定し行った。		継続事業	
	○子どもが安全に遊べ、子育てに関する相談もできる環境を整える。	A	(管理課) 幼稚園は毎日の遊具の安全点検及び毎月10日に室内・倉庫を含めた安全点検を行っている。		継続事業	
	○実施日について検討を行う。	C	現状を維持し、実施することができた。		今後も継続して実施していく。	
ファミリー・サポート・センター事業の実施	○提供会員の確保に努め、受入拡大を図る。	B	ホームページや広報紙により周知を図るとともに、提供会員養成講座を開催し会員確保に努めた。	年1回	今後も継続して実施する。	子育て支援課
	○より多くの方に利用してもらえるようサービスの周知を図る。	B	ホームページや広報紙等を通して、周知を図った。	年1回	今後も継続して実施する。	
相談・手続きの体制整備(利用者支援事業)	○子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、幼稚園・保育所等の利用にあたっての情報収集・提供、相談、利用支援・援助を行う体制づくりを行う。	B	(健康増進課) 妊娠期から保育所の相談あり。随時相談対応した。	随時対応	今後も継続して事業を実施していく	管理課 健康増進課
	○個別対応が必要なケースが増加していることから、相談・手続きの連携体制の検討と支援のメニューなどの情報交換に努める。	B	(管理課) 必要に応じて担当者会議やケース会議を実施し、より良い支援ができるよう努めている。関係各課職員で役割を分担、情報を共有することで支援の方向性が確立されやすくなった。手続きの連携もスムーズに実施できている。	随時、各関係者からの要請を基に参加している。	今後も実施していく。	
		B	(健康増進課) 要支援者への対応については、関係各課へ随時情報提供・情報共有し、支援方針を決定した。幼稚園・保育所・医療機関等様々な関係機関との連携も実施。	随時対応	今後も継続して事業を実施していく	

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子育て支援情報の提供	○ホームページ、広報の有効活用を促進しつつ、関係課のパンフレット等を相互に活用できるようにする。	B	新たなサービスや施設の開設を市広報やホームページに掲載し、周知を行った。		今後も継続して実施する。	子育て支援課
	○官民協働による「子育てサポートブック」を作成し、子育てに関する情報の総合的な提供に努める。	B	出生・転入時において、子育てサポートブックを配付した。	作成部数2年間で2,100部	今後も継続して実施する。	
子育て短期支援事業(ショートステイ)	○保護者の疾病等の理由により養育を受けることが一時的に困難になった児童を児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う。	D	-	-	-	子育て支援課
	○利用する施設利用料の一部を補助するための検討を行う。	D	-	-	-	
一時預かり事業	○利用ニーズを把握し、民間保育所と子育て支援館で事業を行う。	A	計画の3ヶ所に加え、余裕活用型を1ヶ所で実施した。	一般型3施設 余裕活用型1施設	今後も継続して実施する。	子育て支援課
延長保育事業	○保育認定を受けた子どもについて、利用状況を把握しながら、適正な時間外保育を実施する。	C	13施設で延長保育を実施した。 (3施設で未実施)	保育所8施設 地域型事業所4施設 認定こども園1施設	今後も継続して実施する。	子育て支援課
預かり保育事業	○民間幼稚園、認定こども園において利用者のニーズに合った預かり保育を実施する。	B	幼稚園1施設、認定こども園1施設で預かり保育を実施した。	幼稚園1施設 認定こども園1施設	幼稚園、認定こども園において、利用者ニーズに合った預かり保育を実施する。	子育て支援課
病児・病後児保育	○病後児保育の運営補助を行う。	B	病後児保育を実施している施設に対し、補助金を交付した。	1施設	病児保育施設1施設及び病後児保育施設1施設に対し、補助金を交付する。	子育て支援課
	○病児保育利用者に利用料の補助を実施する。	B	病児保育利用者に対して、対象児童1人につき日額1,000円の助成を実施した。	申請件数 13件 助成額 29,000円	令和6年度から病児保育施設が開設されたことに伴い、年度末で事業を終了する。	

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
放課後児童健全育成事業 (学童保育)	○4～6年生の利用希望者の入所に向けた体制を整備する。	C	定員に余裕のある学童保育室において、高学年の利用受入れを行った。	3年生まで 2施設 4年生まで 1施設 6年生まで 4施設	高学年の利用希望者を受け入れられるよう、体制を整備する。	子育て支援課
	○入所待機者が発生する場合には保育室の拡張などを検討する。	C	白里、増穂において、受入学年が制限されることとなったが、保育室の拡張は検討していない	白里 R5 6年生まで R6 4年生まで 増穂 R5 6年生まで R6 3年生まで	今後の利用者数の推移を推定し、入所待機者が発生しないよう、保育室の拡張等の検討を行う。	
	○学童保育の質の向上を図るため、指導員等の研修を行っていく。	C	認定資格研修、資質向上研修を受講した。放課後子ども教室との意見交換会は未実施。	認定資格研修受講人数 7人 資質向上研修 37人	指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用して指導員等の資質の向上を図る。	
	○民間の学童保育との連携を図りながら、充実した学童保育を行っていくとともに、高学年までの拡充にともない指導員の指導力や学習サポート等の受け入れ体制の充実を図る。	B	認定資格研修、資質向上研修は、民間学童の職員も受講した。	民間学童受講人数 認定資格研修 2人 資質向上研修 19人	県の認定資格研修、資質向上研修を民間学童の職員も受講できるよう周知を図る。	
	○障がい児等の支援の必要な子どもの受け入れについては、適切な対応に努める。	B	発達障害児等の対応に関する研修を受講した。支援の必要な児童を受け入れる保育室については、必要な人員を加配した。	研修受講人数 37人	指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用して、障がい児の受け入れに対応する。	
放課後子ども教室	○小学校の余裕教室を活用して、子どもの活動拠点(居場所の整備)を地域住民の参画を得て進める。	B	小学生を対象に、小学校の余裕教室等を活用し、地域住民の参画を得て、学習活動やスポーツ、文化活動等の子どもたちの交流活動を実施。	市内7校で実施。令和5年度全小学校開催日数:435日 延べ参加人数:9,634人	今後も継続して事業を実施していく。	生涯学習課
	○学習やスポーツ、文化、地域交流等の取組を推進する。	B	全小学校区において週2回の活動において、学習だけでなく、季節に沿ったプログラム等を実施しており、その中でスポーツや文化に触れる機会を提供している。	市内7校で実施。令和5年度全小学校開催日数:435日 延べ参加人数:9,634人	今後も継続して事業を実施していく。	
	○地域の人材を活用したプログラムを取り入れる。	B	よみかせやマジックショー、管弦楽団の演奏披露など地域のボランティアによる各種特別プログラムを実施している。	特別プログラム実施回数:35回 ボランティア数:67人	今後も継続して事業を実施していく。	
放課後子ども総合プランの推進(上記「放課後児童健全育成事業」「放課後子ども教室」の2事業の連携)	○すべての就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう、学童保育と放課後子ども教室の連携を図り一体化への取組を進めていく。	B	2事業で連携し、どちらの事業にも参加できるようにした。また、特別プログラムと一緒に参加するなど、連携に務めた。	2回 ※新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。	今後も両事業の連携を図りながら、一体化に向けて努めていく。	生涯学習課

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
体験機会の充実	○公民館の事業の中に子どもたちの多様な体験機会、遊び・学びの場としての講座を設け、参加を促進する。	B	主催事業の定期講座で親子英語あそび教室を特別講座で、夏・冬休みに親子・子ども向け講座を開催した。	令和5年度実績 定期講座12回 特別講座7回	今後も継続して事業を実施していく。	生涯学習課 (公民館、スポーツ振興室)
	○子どもたちの育成を支援するため、文化にふれる機会を拡充する。	B	原爆被爆と戦時下の郷土資料展においては、小中学生への参加促進を行った。産業文化祭「文化の部」及び郷土芸能発表会では、小中学生の参加があった。	3事業で実施	今後も継続して事業を実施していく。	
	○子どものスポーツ教室や市民スポーツ大会などの行事を開催し、スポーツを通じて世代間交流が図れるように実施する。	B	市民スポーツ大会、スポーツ教室、新春マラソン大会を開催する。	市民スポーツ大会、スポーツ教室、新春マラソン大会は毎年実施(コロナ禍を除く)	今後も継続して事業を実施していく。	
	○特別企画展やデジタル博物館等の解説は、できるだけわかりやすい文章になるよう工夫をする。	A	デジタル博物館においては、クラウドファンディングを実施し、「子ども考古学教室」を公開した。また、小学校からの依頼で出前授業を実施した。	実施	今後も継続して事業を実施していく。	
子どもの読書活動の推進	○読書意欲を増進させるため、親子向けの講座の開催や、児童を対象とした絵本の読み聞かせ、本の紹介を行う。	B	新型コロナウイルスの影響で、臨時休館中は集客型の読み聞かせや講座は中止したが、かわりに児童向けのおすすめ絵本セットの貸出など、本の紹介を新たな方法で行った。また、おすすめブックリストの配信をはじめた。	毎週1回市内各図書館でおはなし会を実施 年2回おすすめブックリストを市内小・中学生へ配布	今後も継続して事業を実施していく。	生涯学習課 (図書館)
	○就学前児童、小学校低学年を対象に映画を上映し、本や図書室に親しめる環境を作る。	B	新型コロナウイルスの影響で、一時中止していたが、令和5年度から再開している。	年4回	参加者が少ないため実施回数等の見直しを含め、今後も継続して事業を実施していく。	
	○読書手帳を配布し読書の推進を図る。	B	市内各図書館にて読書手帳を配布している。また令和5年度に図書館システムを入替し、図書室ホームページ内で利用者が自分の借りた本を記録できる「マイページ」や、自分で読書冊数の目標をたてられるよう「読書マラソン」の機能を追加した。	令和5年度 読書手帳配布数 50部	今後も継続していく。	

4 仕事と家庭生活の両立の推進

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
多様な就労形態の推進	○関係機関と連携し、男女ともフレックスタイム制や在宅勤務、育児・介護休業制度の利用等、多様で柔軟な働き方の推進に向けた意識啓発に努める。	B	育児や介護との両立など、ニーズの多様化に応じて多様な働き方を選択できる社会の実現に向けた啓発活動を実施した。	ポスター及びパンフレットによる周知の実施	ホームページへの掲載をはじめ、ポスターの掲示やパンフレット等の配架により周知を図る。	商工観光課
	○パンフレット等での関連情報の周知に努める。	B	同上	同上	同上	
男性にとっての男女共同参画の推進	○男性にとっての男女共同参画を図るため、男性の料理教室等の家事支援の講座等を開催するなど、参加啓発を行う。	B	おとう飯について市広報で啓発を行った。	1回	男女共同参画計画の次期計画策定に向け、引き続き男性の家事支援に向けての取組を検討する。	地域づくり課
職場環境づくりの推進	○子育て中の人の定時帰宅や早退、育児・介護休業制度の利用等に理解を示し、協力していくよう、企業や労働者双方への啓発に努める。	B	子育てや介護をしながら働き続けられるよう、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりの推進に向けた啓発活動を実施した。	ポスター及びパンフレットによる周知の実施	ホームページへの掲載をはじめ、ポスターの掲示やパンフレット等の配架により周知を図る。	商工観光課
職場復帰支援	○再就職を希望する女性に対し、就職情報の提供や相談により、就労の支援を図る。	B	女性の置かれている状況により、ハローワークやCと、社会福祉課などに相談者をつなげた。		今後も継続して実施する。	子育て支援課

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
雇用、労政の情報提供の充実と周知	○雇用・労政に関する情報について、関係機関と連携し、企業や労働者双方への周知を図る。	B	雇用・労政全般に関する情報を関係機関と連携して周知した。	ホームページ、ポスター及びパンフレットによる周知の実施、就職支援イベントの実施	ホームページへの掲載をはじめ、ポスターの掲示やパンフレット等の配架により周知を図る。	商工観光課
市職員への育児休業法等の周知	○職員に対し、育児休業法等の周知を行い、適切な取得を促進する。	B	職員の育児休業取得の相談に対し、制度内容等の説明を行う。	育児休業取得率 男性 66.7% 女性 100%	対象職員に対し、育児休業等の制度について周知を行い、適切な休業等の取得を促進する。	総務課
市特定事業主行動計画の推進	○市特定事業主行動計画に基づき、事業等の推進を図る。	C	計画を推進し、職員の仕事と子育ての両立を支援していく。	・育児休業取得率(男性) 66.7% ・配偶者出産休暇取得率(男性) 66.7% ・課長級相当職に占める女性職員の割合 5.4% ・副課長級相当職に占める女性職員の割合 25.0% ・班長級相当職に占める女性職員の割合 31.7%	計画を推進し、職員の仕事と子育ての両立を支援していく。	総務課

基本目標3 地域 見守り寄り添う子育て支援

1 子ども・子育てを理解する地域づくり

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子どもと子育ての理解を深めるための啓発活動	○地域の人たちが子どもと子育てについて学び、様々な場面で子どもや子育て世代を支援できるような啓発活動の展開に努める。	B	新型コロナウイルスの影響はあったものの、各市町持回りで社会教育振興大会を開催できた。	年1回	山武郡市各市町で持回りで社会教育振興大会を開催し、記念講演を実施する。	生涯学習課
	○子育て世代や子どもに対し、生命の大切さや家庭の役割を考える機会となるように、地域から働きかけられるように努める。	C	各幼稚園・小中学校での学齢に応じた課題について研修の場を設けた。	19回	各幼稚園・小中学校で児童の学齢に応じた課題研修の場を設ける。	
	○子どもの年齢に応じた学級運営の実施や、家庭教育指導員を派遣する。	C	幼稚園・小中学校の要請により家庭教育指導員を派遣した。	2回	子どもの年齢に応じた学級運営の実施や、家庭教育指導員を派遣する。	
男女共同参画社会づくりの推進、次世代育成支援に関する周知	○生涯学習や地域活動など、様々な場面で啓発して理解を深める。	B	男女共同参画計画の各施策を推進し、令和5年度の結果について大網白里市男女共同参画審議会を開催し審議した。	男女共同参画計画審議会 1回	現行計画である「第2次大網白里市男女共同参画計画」を推進しつつ、次期計画である「第3次男女共同参画計画」を策定し、策定後は計画に基づき施策を推進する。	地域づくり課

2 地域ぐるみの子育て・地域の子育て支援

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子育て関連団体等のネットワーク化	○子育て関連団体のネットワーク化を図り、連携した活動を行えるよう支援する。	D	交流会について開催できていない。		今後の方針について検討していく。	子育て支援課
	○市民に各団体の活動内容をホームページ等でPR紹介する。	B	市内で子育て支援に関する活動を行っている団体のイベント情報をHPに掲載。	HPIに掲載	今後も継続して実施する。	
定住化の推進	○「三世代同居等住宅支援事業費補助金」等定住化につながる施策を展開し、若い世代のUターン促進を図る。	B	(企画政策課) 令和4年度から「結婚新生活支援事業補助金」を開始し、若い世代の定住化を推進した。	15件	国の交付金を活用した事業であるため、国県の動向を注視し、今後の取組内容を検討する。	企画政策課 子育て支援課 地域づくり課
	○子育てしやすい環境づくりや施策を行い、子育て世帯の定住化を推進する。	B	(企画政策課) 令和5年度から「バス通学定期運賃補助金」を開始し、子育て世帯への経済的支援を行った。	85人	今後も継続して事業を実施する予定。	
		B	(子育て支援課) 子育て世帯の経済的負担の軽減、子どもの保健対策の充実を図るため、子ども医療費助成の拡充を行った。	高校生まで助成対象を拡充	今後も継続して実施する。	
	○住民と行政の協働を推進することで、地域の活性化と住み良いまちづくりに取り組んでいく。	B	(地域づくり課) 住民と行政の協働を推進し、地域の活性化と住み良いまちづくりに取り組んだ。	住民協働事業1事業実施	今後も継続して事業を実施していく。	
	○市の上位計画と連動した施策を検討・実施していく。	B	—	—	今後も上位計画と連動した各施策を実施していく。	

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
地域が関わる子どもの育ち支援と連携	○地域が親子に関わる機会とその仕組みづくりについて、ボランティア活動や地域の力を活かした体制の確立を目指す。	B	(地域づくり課) ホームページのボランティア情報を更新し、最新の情報を提供した。	ホームページ更新1回	今後も継続して事業を実施していく。	地域づくり課 農業振興課
	○ホームページ等でボランティア団体の情報を公開し、興味のある市民と団体のつながりを図る。					
	○育児支援だけでなく、親子に生活の知恵を伝えたり、地域の産業(農・商・工・漁等)の体験活動や相談など地域の人・組織・活動場所を有効に活用した展開を図る。	C	(農業振興課) 収穫体験会の開催に向けて、さつまいもを作付したが、令和5年は夏期の高温と9月の台風13号の影響でさつまいもの生育が悪く、収量が見込めなかったことから、収穫体験会は中止とした。	左記の理由により収穫体験会は中止。	収穫体験会の開催については、引き続き市農業研究会と調整する。	
地域づくり・人づくり	○地域住民、関係課等で協働して世代間交流や地域活動の機会拡充を検討する。	B	(生涯学習課) 豊かな経験、専門的な知識、すぐれた技術力を有する方に講師登録をしてもらい、要望に応じて講師を派遣する。	登録ボランティア人数18人 派遣養成回数3回	今後も状況を見極めて実施していく。	生涯学習課 地域づくり課
		B	(地域づくり課) 住民協働事業を実施し、地域活動の活性化を図った。	実施事業1事業	今後も継続して事業を実施していく。	
	○子育て世代の親が学習活動に参加しやすい生涯学習推進体制を整備する。	C	(生涯学習課) 市ホームページや広報紙、SNS等を活用し、幅広い世代に周知するようにした。	—	託児サービスやオンライン講座などについて検討し、子育て世代が参加しやすい生涯学習推進体制を整備する。	
	○ホームページや広報紙を活用し、学習情報や社会教育関係団体の情報を提供する生涯学習情報等提供事業を実施する。	C	(生涯学習課) 市ホームページや広報紙、SNS等を活用し、幅広い世代に周知するようにした。	—	今後も幅広いメディアを活用して周知していくとともに、魅力ある講座を企画する。	

3 生活環境の整備

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
子ども110番の家支援活動	○子ども110番の家の設置を促進し、子どもに場所の周知を図る。	B	地域の協力を得て実施している。家庭への周知とともに、集団下校等に場所の確認を行っている。	令和6年3月31日現在の設置件数 446件	今後も事業を継続して実施していく。	管理課 (社会福祉協議会)
	○移動型子ども110番の周知を図る。					

事業名	計画における取組	取組状況	取組内容	R5年度実績値	令和7年度～令和11年度の計画(実施予定)	担当課
地域の安全対策	○関係機関、地域と連携して防犯パトロールを実施し、不審者情報等、迅速な伝達が行えるような体制を整備する。	B	(生涯学習課) 青少年相談員連絡協議会と連携して、県下一斉合同パトロールを実施する。	実施回数1回	今後も実施団体と連携を図っていく。	管理課 生涯学習課 安全対策課
		B	(安全対策課) 主に防犯組合と連携して、青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施した。また、教育委員会や東金警察署から提供された不審情報は、ファクス等により防犯組合に連絡するとともに、市内で発生したものは、ホームページに情報を掲載した。	FAXでの不審者情報連絡回数:41回	今後も継続して事業を実施していく。	
	○学校安全対策について、施設面の強化や、子どもへの意識付けを推進していく。	B	(管理課) 児童、生徒を対象に関係機関と連携し、保育所、幼稚園、小学校、中学校において年1回、交通安全教室を開催するとともに、日頃から継続した交通安全の推進・指導に努めている。	令和5年度実施件数 保育所 5件 幼稚園 4件 小学校 7件 中学校 3件	今後も継続して事業を実施していく。	
		B	(安全対策課) 児童、生徒を対象に関係機関と連携し、保育所、幼稚園、小学校、中学校において、交通安全教室を開催した。また、日頃から継続した交通安全の推進・指導ができた。	実施回数 68回	今後も事業を継続して実施していく。	
	○交通安全計画に基づき、交通安全教室、指導等を適切に実施していく。	B	(安全対策課) 関係機関と連携し、市内の保育園、幼稚園、小・中学校において年齢に応じた内容で交通安全教室を引き続き実施し、街頭監視や指導を定期的に実施した。	実施日数 128日 延べ人数 884人	今後も継続して事業を実施していく。	
	○「安全で安心なまちづくりの推進に関する条例」に基づいたまちづくりを推進していく。	B	(安全対策課) 子ども達の見守り活動を中心に防犯活動を実施している自主防犯団体の支援として、防犯パトロールベスト等の装備品を配布した。	装備品購入額 計1,035,292円	今後も継続して事業を実施していく。	
	○子ども達の見守り活動を中心に防犯活動を実施している防犯関係団体の支援として、防犯パトロールベスト等の装備品を配布し体制の強化を図る。	B	(安全対策課) 各防犯団体から希望のあった装備品を配布した。	防犯パトロールベスト、腕章、のぼり旗他9種類を配布した。	今後も継続して事業を実施していく。	
	○通学路の安全には特段の配慮を行う。	B	(安全対策課) 登下校時の交通観察や集団下校時の引率等に職員によるパトロールを行った。 通学路交通安全プログラムに基づく通学路の合同点検を実施した。	パトロールについては随時実施。 合同点検については年に1回実施し、危険な箇所等あれば適宜実施。	今後も継続して事業を実施していく。	
公園緑地維持管理事業	○身近な遊び場として利用が促進できるよう施設の維持管理に努めるとともに、整備についても検討する。	B	外部委託による除草等の管理や、市民からの連絡により、不具合になった施設等の修繕や撤去を実施	利用者の安全を確保するために遊具の交換等必要な措置を行った。	今後も継続して維持管理を実施していく。	都市整備課
自然公園等の整備	○自然に親しめる場として、公園施設や遊具の改修・整備を計画的に推進する。	B	小中池公園再整備構想に基づく、小中池再整備基本計画について、検討委員会を開催し、検討を重ねた。庁内検討会議を開催し、白里海岸公園のあり方を策定した。	・令和7年4月小中池公園再整備基本計画策定予定 ・令和3年4月白里海岸公園のあり方について策定	各計画に基づき、維持管理を実施していく。	都市整備課
	○小中池公園の再整備基本計画を策定する。					
	○白里海岸公園のあり方の策定を進め、効率的な管理運営を図る。					